

第1学年1組 学級活動指導案

指導者 T1 長谷川信子  
T2 富山 悦子  
T3 緒方 直美  
T4 大楽 宇子

1 題材名 きれいな手

- (1) 日常生活や学習への適応及び健康や安全に関すること  
(オ) 心身ともに健康で安全な生活態度の育成

2 題材設定の理由

(1) 題材について

1年生は、生活全般にわたる基本的な生活習慣の育成が大切である。特に健康を保持増進し健康な生活を送るために、清潔に関する習慣形成はとても重要である。また、遊びや運動もだんだん活発になってくる時期、体や衣服を清潔にしなければならないわけや清潔にする方法を指導することによってその習慣化を図ることも大切なことと考える。

本学級の児童は外遊びが大好きで、休み時間には元気に体を動かし楽しんでいる。そのため、汗や体の汚れは相当なものである。しかし、休み時間後の子どもたちの様子を見てみると、汗ふきや手洗いが不十分だったり、手洗いはするがただ水で遊んでいて正しく洗えてなかったりという様子である。また、ハンカチがなくても平気だったり爪が伸びていてもあまり気にしなかったりなど、清潔面に無関心な児童もいる。

そこで、清潔指導の一部として、また、食中毒が発生しやすい時期の予防策として病気になるようにするためにも、手洗いの大切さに十分気づかせ、進んで手を洗う態度や習慣を養いたいと考え、本題材を設定した。

(2) 児童の実態

実態調査（平成20年6月10日 調査人数 男子22人 女子16人 合計38人）

項 目		いつも洗う	時々洗わないことがある	洗わないことが多い
手洗い	食事前	23人	8人	7人
	運動や遊びの後	28人	10人	0人
	トイレの後	22人	11人	5人
ハンカチの用意		いつも持っている	時々忘れる	忘れることが多い
		22人	14人	2人

(3) 指導にあたって

日常生活の上で手を使うことは大変多く、そのため手にはいろいろな汚れやばい菌がついていることや汚れた手をそのままにしておくことなどに気づかせ、進んで手を洗おうとする意欲を持たせたい。また、正しい手の洗い方を実践を通して理解させ、いつも手をきれいにしておくなどよりよい習慣が身に付くようにしていきたい。指導にあたっては、手洗いと健康との関係をより専門的な立場から指導してもらうため養護教諭とのTTで行うこと、また、手洗いの実践では、学級を4つのグループに分けてより細かに支援できるように4人でのTTで行うことにした。

3 本時までの経過

	期日	活動の主体	活動の内容	評 価 規 準
事前	6月10日 学級活動	学級全児童	アンケート用紙記入	
	6月12日 放課後	TT打ち合わせ	指導案検討、授業準備	
	6月23日 放課後	TT打ち合わせ	授業内容の確認、役割、分担	
本時	6月26日 学級活動	学級全児童	きれいな手	<ul style="list-style-type: none"> <li>手洗いの大切さがわかる。 (知識・理解)</li> <li>正しい手の洗い方がわかり、進んで実践しようとする気持ちを持つ。(知識・理解)(関心・意欲・態度)</li> </ul>
事後	常 時	個 人	休み時間の後、給食の前 トイレの後、清掃の後など 進んで手洗いをしている 児童を賞賛する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな活動の後、きちんと手を洗うことができる。 (技能・表現)</li> </ul>

#### 4 本時の活動

##### (1) 目標

手洗いの必要性を理解し、正しい手の洗い方を実践することができる。

##### (2) 学校目標との関連

手洗いと健康との関係を理解し実践することにより、自ら健康に気をつけて生活していこうとする児童が育つものと考ええる。

##### (3) 準備・資料

- ①どんな時に手が汚れるかを表した図 ②手についた汚れの写真 ③爪の汚れの図  
④アルコール綿 ⑤手とばい菌の絵 ⑥正しい手洗いの図 ⑦ドレミの歌のテープ  
⑧がんばりカード

##### (4) 展開

時間	学習活動及び内容	資料形態	教師の支援及び評価 (評)
10	1 手の汚れについて話し合う。 (1) どんな時に手が汚れるか発表する。 (1) 自分の手の汚れを見る。  (2) 手の汚れの体に対する詳しい影響を知る。	一斉 ①② ③ 個人 ④ ⑤	・ 普段の生活でどんな時に手が汚れるか、汚れたらどうしているかなどたくさんの意見を出させる。(T1) ・ アルコール綿で指や手を拭かせたり、絵を見せたりして普段の生活でたくさんの汚れやバイ菌が手にはついていることに気づかせ実感させる。(T1) ・ 机間指導しながら、手についた汚れについて気づかせる。(T1, T2, T3, T4) ・ バイ菌が体の中に入るとどんな悪影響があるか、詳しく説明する。(T2)
	2 本時の学習課題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">てあらいじょうずになろう</div> (1) 今までの自分の手洗いの仕方を振り返る。 (2) 正しい手の洗い方を知る。	一斉 ⑥	・ 手が汚れていると体に悪いことがわかり、手洗いの大切さに気づいたか。(観察) ・ 「誰が上手に手を洗うことができるかな。きれいな手になるのは誰かな。」などと呼びかけ学習意欲を高める。(T1) ・ 今までの洗い方を自分なりに振り返らせたり、何人かの児童に実際に演技させたりして、どういう手洗いをすればよいか考えさせる。(T1) ・ しっかりと汚れを落とすための正しい手の洗い方を絵を見せながら詳しく説明する。洗い終わったら、きれいなハンカチで拭くことも知らせる。(T2) ・ T4はT2の正しい手洗いの説明に合わせ手洗いの実演をし理解や意欲を高める。
25	3 水や石けんを使って、手洗いを実践する。	個人 ⑥ ⑦	・ T1, T2, T3, T4が四カ所の手洗い場に分かれ個別指導する。 ・ 洗いは図を見て、ていねいに洗うように声をかける。 ・ 音楽に合わせて楽しく洗わせるようにする。 ・ なかなかうまくいかない児童には、個別指導を行い、正しい手洗いを身に付けさせる。 ・ 正しい手の洗い方がわかり、きちんと洗うことができたか。(観察)
40	4 本時のまとめをする。 (1) がんばりカードに自分のめあてを書き発表する。	一斉 ⑧	・ 自分のめあてを決めて、1週間継続してがんばってみようと呼びかけることにより、実践意欲を高めたか。 ・ 自分のめあてを持ち、がんばっていこうとする意欲が持てたか。(カード・発表)

#### 5 事後の活動への配慮

##### (1) 家庭との連携

・ 本時の学習内容について学級通信で家庭へ伝え、家庭での啓発や保護者との連携を図る

##### (2) 個別指導

・ 休み時間や清掃終了後、トイレの後、給食前などの手洗いが習慣化されるようにその都度声をかけ励ましていく。